建設リサイクル法第13条等に基づく書面に係る見積書

入札参加者 各位

法令の定めにより、工事請負契約書に次の4項目について明記することになっておりますので、入札金額を積算するに当たっては、この様式に基づき見積りを行ってください。 なお、<u>この見積書は、契約締結時に資料として業務担当課へ提出してください。</u>

【法令】

- ・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)
- ・特定建設資材に係る分別解体等に関する省令

項目		内容
1	分別解体の 方法	□手作業 □機械併用の作業 いずれかの方法をチェックする。(別紙(2)参照) ※別紙(2)は、該当する工事の様式を使用すること。
2	解体工事に 要する費用	別紙(2)により見積りを作成する。 対象工事費 ・構造物の取壊費用 ・現場から搬出するための積込み作業の費用 全ての建設資材の品目の合計の費用 直接工事費(税抜き)
3	再資源化等 の施設名称	実際に再資源化の処理を考えている施設 ・該当する <u>特定建設資材</u> の品目毎の処理を受け入れる施設の名称 ・複数でも可
4	再資源化等 の費用	別紙(3)により見積りを作成する。 対象工事費 ・再資源化に要する費用 ・廃棄物の運搬費用 該当する <u>特定建設資材</u> の品目の合計の費用 直接工事費(税抜き)
	備考	建設リサイクル法に定める特定建設資材 ・コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・木材 ・アスファルト・コンクリート この4品目を廃棄物として処分する時は、建設リサイクル法により、 分別解体・再資源化等が義務付けられています。 【対象となる工事】 1 土木工事等(2~4以外のもの) 請負金額が500万円以上 2 建築物の解体 床面積が80平方メートル以上 3 建築物の新築・増築 床面積が500平方メートル以上 4 建築物の修繕・模様替 請負金額が1億円以上

1 分別解体の方法(該当する□にチェックする)

作業内容 分別解体等の方法								
エー エ程	(工事の有		ガ別解体寺の万法 (解体工事がある場合チェック)					
程 1 仮設	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		□手作業					
			□手作業・機械作業の併用					
と 2 ±エ	土工事	口手作						
0 2 11	□有 □無		≡業・機械作業の併用					
作 3 基礎	基礎工事	□手作						
	□有 □無	口手作	■業・機械作業の併用					
内容 及び 5 本体付属品	本体構造の工事	口手作						
谷	□有 □無	口手作	⋷業・機械作業の併用					
グ 5 本体付属品	本体付属品の工事	口手作	業					
O 仮 ?	□有 □無	口手作	コ手作業・機械作業の併用					
解 体 方	その他の工事							
本 ())	□有 □無	口手作	≡業・機械作業の併用					
カ								
本								
2 解体工事に要する費	2 解体工事に要する費用(解体工事がある場合に記載する)							
分別解体に要する費用								
品目	数量	単 価	工事費					
- н н	(t、立方メートル)	(円/t、立方メートル)	(円)					
コンクリート			1					
コンクリート及び			2					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材			2					
コンクリート及び								
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材			3					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・			2					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート			② 3					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 積込みに要する費用	□有 □無 数 量	単価	②③④					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート	数量	単 価 (円/t、立方メートル)	3					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 積込みに要する費用 品 目	□有 □無 数 量 (t、立方メートル)	単 価 (円/t、立方メートル)	② ③ ④ 工事費 (円)					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 積込みに要する費用	数量		② ③ ④ 工事費					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 積込みに要する費用 品 目 コンクリート	数量		② ③ ④ 工事費 (円) ⑤					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 品 目 コンクリート コンクリート	数量		② ③ ④ 工事費 (円)					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・コンクリート 積込みに要する費用 品 目 コンクリート コンクリート みび 鉄からなる建設資材	数量		② ③ ④ 工事費 (円) ⑤					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・ コンクリート 品 目 コンクリート コンクリート	数量		② ③ ④ 工事費 (円) ⑤					
コンクリート及び 鉄からなる建設資材 木材 アスファルト・コンクリート 積込みに要する費用 品 目 コンクリート コンクリート みび 鉄からなる建設資材	数量		② ③ ④ 工事費 (円) ⑤					

上記の工事費①~⑧の合計額が解体工事に要する費用となります。 上記以外の建設資材を分別解体するように仕様書にありましたら、その資材についても 分別解体及び積込みに要する費用の見積りを行い、合計額を算出してください。

1 分別解体の方法(該当する口にチェックする)

アスファルト・

コンクリート

エ	工程	作業内容		分別解体等の方法			
起		(工事の有無)		<u>(解体工事がある場合チェック)</u>			
程ごと	1 建築設備・			口手作			
٦	内装材等	□有 □無			業・機械作業の併用		
の こ	2 屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し		口手作	=		
		□有 □無			□手作業・機械作業の併用		
作 業	3 基礎	基礎工事		口手作			
内		□有 □無			業・機械作業の併用		
灾	4 外装材・上部	外装材・上部構造部分	かの取り壊し	口手作			
容及び	構造部分	□有 □無			業・機械作業の併用		
7 K	5 基礎・				□手作業		
解	基礎ぐい]手作業・機械作業の併用		
休	6 その他			口手作			
体 方	()	□有 □無		口手作業・機械作業の併用			
法							
//							
2 解体工事に要する費用 (解体工事がある場合に記載する)							
	品目	数 重 (t、立方メートル)	ー に (円/t、立方メー	-トル)	(円)		
コン	クリート				1		
	クリート及び				2		
鉄か	らなる建設資材						
木材					3		
	ファルト・				4		
コン	クリート						
積	込みに要する費用	□有 □無	24 Jan				
	品目	数 量 (t、立方メートル)	単 価 (円/t、立方メー	-トル)	工事費 (円)		
コン	クリート				5		
コン	クリート及び						
	らなる建設資材				6		
木材					7		

上記の工事費①~⑧の合計額が解体工事に要する費用となります。 上記以外の建設資材を分別解体するように仕様書にありましたら、その資材についても 分別解体及び積込みに要する費用の見積りを行い、合計額を算出してください。

8

1 分別解体の方法(該当する□にチェックする)

アスファルト・

コンクリート

I	工程	作業内容 (工事の有無)		分別解体等の方法 (解体工事がある場合チェック)				
程 ご	1 建造成等	造成等の工事 □有 □無		口手作				
との	2 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し		口手作				
作 業	3 上部構造部分	上部構造部分・外装	の工事	口手作	業			
内容	・ <u>外装</u> 4 屋根	屋根の工事[口手作				
D び	5 建築設備·	建築設備・内装等の工事		□手作 □手作	業・機械作業の併用 業			
解	内装等	□有 □無		口手作	業・機械作業の併用			
体方	6 その他 ()	その他の取り壊し □有 □無			□手作業 □手作業・機械作業の併用			
法								
	2 解体工事に要する費用 (解体工事がある場合に記載する) 分別解体に要する費用 口有 口無							
	品目	数 量 (t、立方メートル)	単価 (円/t、立方メー	-トル)	工事費(円)			
コン	クリート				1			
	クリート及び らなる建設資材				2			
木材					3			
	ファルト・ クリート				4			
積	積込みに要する費用 口有 口無							
	品目	数 量 (t、立方メートル)	単 価 (円/t、立方メー	-トル)	工事費 (円)			
コン	クリート				(5)			
	クリート及び らなる建設資材				6			
木材					7			

上記の工事費①~⑧の合計額が解体工事に要する費用となります。 上記以外の建設資材を分別解体するように仕様書にありましたら、その資材についても 分別解体及び積込みに要する費用の見積りを行い、合計額を算出してください。

8

3 再資源化をするための施設の名称及び所在地(複数でも可)

品目	施設の名称	所在
コンクリート		
コンクリート及び 鉄からなる建設資材		
木材		
アスファルト・ コンクリート		

4 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用

再資源化等に要する費用

丹貝派に守に安する貝用						
品目	数 量 (t、立方メートル)	単 価 (円/t、立方メートル)	工事費 (円)			
コンクリート			1			
コンクリート及び 鉄からなる建設資材			2			
木材			3			
アスファルト・ コンクリート			4			

運搬に要する費用

品目	数 量 (t、立方メートル)	単 価 (円/t、立方メートル)	工事費(円)	備考 (運搬距離等)
コンクリート			(5)	
コンクリート及び 鉄からなる建設資材			6	
木材			7	
アスファルト・ コンクリート			8	

上記の工事費①~⑧の合計額が再資源化等に要する費用となります。 複数の施設において処理を行う場合は、上記と同様に計算を行ってください。

5 その他

この見積りは、建設リサイクル法第13条および省令第7条に基づき、請負工事の契約に際し、発注者と受注業者が説明・協議を行い、分別解体・再資源化について適切に実施するため、4項目について書面での双方確認を行うものです。